

平成 27 年 8 月 18 日	課長	課長補佐	係長	主任	審査者	設計者	検算
工 事 設 計 書							閲覧用
工 事 名	倉吉市関金農林漁業者等健康増進施設屋根改修工事						
工 事 場 所	倉吉市 関金町 関金宿						
一 金	円						
(内消費税及び地方消費税額							円)
工 事 概 要				起 工 理 由			
・ 屋根の改修工事							

現 場 説 明 書

一般的事項 1
平成27年4月1日 改正

1 仕様書の適用について

この契約において適用する仕様書は、特に定めのない限り『公共建築工事標準仕様書』『公共建築改修工事標準仕様書』（以下、「仕様書」という。）をいう。

2 法令等の遵守について

- (1) 建設業法、労働安全衛生法等の各種関連法令を遵守し、法令に抵触する行為は行わないこと。
- (2) 建設業からの暴力団排除の徹底について
ア 工事の施工に際し、暴力団等の構成員又はこれに準ずる者から不当な要求や妨害を受けた場合は、監督員に速やかにその旨を報告するとともに、警察に届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。
イ この場合において、工程等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに監督員に協議すること。
- (3) 工事現場に配置する技術者等（技術者等とは、現場代理人、追加技術者、主任技術者及び監理技術者をいう。）は、建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあるものでなければならない。

3 下請関係の適正化について

- (1) この契約に係る工事の的確な施工を確保するため、下請契約を締結しようとする場合は「建設産業における生産システム合理化指針」（平成3年2月5日付建設省経構発第2号建設省建設経済局長通知）の趣旨に則り、優良な専門工事業者の選定、適正な価格による下請契約の締結、代金支払等の適正な履行、適正な施工体制の確立、及び下請における雇用管理等の指導等に努めること。
- (2) 受注者は、下請契約を締結した場合は、下請契約締結の日（元請人を除く下請注文者の行った下請契約締結を含む。）の翌日から起算して20日以内に建設業法第24条の7に規定する施工体制台帳及び施工体系図の写し並びに同法施行規則第14条の2及び同規則第14条の4に規定する添付書類を提出しなければならない。
- (3) 工事の一部を第三者に請け負わせる場合、又は工事に伴う交通誘導等の業務を第三者に委託する場合には、原則として市内に本店又は支店、営業所等を有する業者（以下「市内業者」という。）と契約すること。ただし、技術的に施工できる市内業者がない工事等を請け負わせ、又は委託する場合、あるいは市内業者で施工できても工程的に間に合わない等、特段の理由がある場合は、監督員に事前協議して市外業者と契約することができる。
- (4) 建設業退職金共済制度への加入等
ア 建設業者は、建設業退職金共済制度（以下「建退共」という。）に加入すると共に、その建退共の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼付すること。ただし、下請を含むすべての労働者が、中小企業退職金共済制度、清酒製造業退職金共済制度、林業退職金制度のいずれかに既に加入済みで、建退共に加入することができないと認められる場合は、この限りでない。
イ 建設業者が下請契約を締結する際は、下請業者に対してこの制度の趣旨を説明し、原則として証紙を下請の延労働者数に応じて現物交付することにより、下請業者の建退共加入及び証紙の貼付を促進すること。なお、現物を交付することができない場合は、掛金相当額を下請代金中に算入することとし、契約書等に明記すること。
ウ 受注者は、工事現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を掲示すること。

4 労働者の福祉向上について

- (1) 建設労働者の適切な賃金水準の確保、社会保険等（雇用保険、健康保険及び厚生年金保険）への加入など、労働者の福祉向上に努めること。なお、健康保険等の適用を受けない建設労働者に対しても、国民健康保険等に参加するよう指導に努めること。
受注者は、請け負った工事に従事する全ての下請業者に対して、上記と同様に社会保険等加入の指導に努めること。
- (2) 下請契約の締結に際しては、下請業者へ法定福利費を内訳明示した見積書（標準見積書という。）の提示を求め、提示された場合にはこれを尊重するように努めること。

5 労働安全衛生の確保について

労働災害のリスク低減のため、「建設工事における労働災害防止のためのリスクアセスメント等について」（平成23年9月30日付第201100099979号県土整備部長通知）に基づくリスクアセスメント等に積極的に取り組むこと。

6 建設資機材の使用について

- (1) 工事に使用する資材については、「県土整備部リサイクル製品使用基準」（平成22年1月20日付第200900157785号県土整備部長通知）に基づくリサイクル製品がある場合は、原則これを使用すること。
- (2) リサイクル製品以外の工事に要する資材の使用順位は、次のとおりとする。
 - ア 県内産の資材がある場合は、県内産の資材を使用すること。
 - イ 県外産の資材を使用する場合は、県内に本社又は営業所、支店等を有する販売業者（以下「県内販売業者」という。）から購入した資材を使用すること。ただし、当該資材について県内販売業者がない場合は、この限りでない。
- (3) 建設機械の使用について
 - ア 施工現場及びその周辺の環境改善を図るため、低騒音型・低振動型の建設機械を使用するよう努めること。
 - イ 工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む）又は建設機械等の燃料として、地方税法（昭和25年法律第226号）に違反する軽油等（以下「不正軽油」という。）を使用しないこと。
また、使用燃料の抜き取り検査を行う場合には、現場代理人がこれに立ち会うなど協力を行うとともに、不正軽油の使用が発見された場合には、当該燃料納入業者を排除するなどの是正措置を講じること。
- (4) ダンプトラック等による運搬について
 - ア 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下「法」という。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体の設立状況を踏まえ、同団体への加入車の使用を促進するよう努めること。
 - イ 積載重量制限を超えて工事用資機材等を積み込まず、また積み込ませないようにするなど違法運行を行わせないようにすること。違法運行を行っている場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。

7 リサイクルの促進について

建設リサイクル法、「鳥取県県土整備部公共工事建設副産物活用実施要領」（平成22年9月13日付第201000087971号県土整備部長通知）に基づき建設副産物のリサイクル等に努めること。

8 消費税法及び地方消費税法の適正転嫁等について

下請契約及び資材購入等において、消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保のための消費税の転嫁を阻害する行為の是正等に関する特別措置法（平成25年法律第41号）で禁止された添加拒否等行為を行わないなど、適切な対応を行うこと。

9 その他

受注者は、工事請負代金額500万円以上の工事について、受注、変更、訂正及び完成時10日以内に工事实績情報サービス（CORINS）に工事实績情報の登録を行い、登録内容確認書を印刷して発注者に提出すること。

現場説明書

仕様書	① 平成 年 月 日時点で最新の仕様書によること。
工程	① ~~（他工事等との調整）~~ については、 と関連するので、相互の連絡調整を密にすること。 ② ~~（着工保留）~~ については、 まで着工しないこと。 ③ ~~（部分完成）~~ については、 までに完成すること。 ④ ~~（施工時間）~~ 本工事の施工時間帯は、昼間施工（8：30～17：00）を見込んでいる。 の施工時間は、 ： ～ ： とする。 ⑤ ~~（施工時期選択制度）~~ この工事には、施工時期選択制度を適用する。工事完成期限は、平成 年 月 日までとし、実工事期間は 日間とする。 なお、契約締結日から着工日前日までの間に資材の搬入、仮設物の設置等の工事の着手を行ってはならない。 ⑥ ~~（鋼材の調達の遅れによる工期の延長）~~ この工事の工期には、鋼材調達期間として、〇か月を見込んでいるが、受注者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。
用地関係	① ~~（用地、物件等未処理）~~ 本工事区間の には があるので、監督員と打合せのうえ施工を行うこと。 なお、 頃 の予定である。
支障物件	① ~~（埋設物等の事前調査）~~ 工事に係る地下埋設物等の事前調査については、一部未調査である。 ② ~~（支障物件）~~ の施工に当って、が支障となっているが、までに移設が完了する見込である。 ③ ~~（立本の置き場所）~~ 工事用地内の立木は伐採し、に置くこと。
公害対策	① ~~（低騒音型・低振動型建設機械）~~ 本工事のうち全ての箇所については、特に生活環境を保全する必要があるため、下記工種の施工に当たっては、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定（国土交通省告示、平成13年4月9日改正）に基づき指定された建設機械を使用するものとする。 該当工種： 全ての工種 、施工機械： 該当する全ての機械
安全対策	① ~~（交通安全施設等）~~ 一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工すること。 ~~なお、交通整理の配置人員及び必要日数として、以下のとおり見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。~~ 交通誘導員A 〇人 ~~（交代要員 有・無）~~ 〇日 合計 〇人 交通誘導員B 〇人 ~~（交代要員 有・無）~~ 〇日 合計 〇人 ~~警備業法に規定する警備員を配置する場合における交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は次のとおりとする。~~ 交通誘導員Aとは、警備業法第2条第4項に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員をいう。また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第3項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条第1項に規定する以外の者を配置し、安全教育、安全訓練等を十分に行うこと。この場合においては、交通誘導員Bを配置しているものとみなす。
工事用道路	① ~~（農地の一時転用について）~~ 本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する場合は、農地の一時転用が必要である。そのため、受注者は、「公共事業の施行に伴う附帯施設の設置に係る一時転用の取扱いについて」（平成24年10月15日付第201200109101号経営支援課長通知）に基づき、着手前に本工事が公共事業であることが証明された報告書を所轄農業委員会へ提出すること。
仮設物	① ~~（仮囲い等の範囲、構造）~~ 工事範囲とその他を明確に区画して、第三者が工事範囲内に立ち入らないようにし、また、第三者に危害が及ばないように対策を講じること。なお、図示した場合は、設計図書によることとする。

濁排水処理	①（濁水処理） 工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うこと。なお、図示した場合は、設計図書によることとする。
建設副産物の処理	【建設発生土（処理）】 ①（他工事等流用） 建設発生土は、市・町・村 地内の 工事現場に運搬（片道運搬距離 km）とするものとする。 ②（建設技術センター） 建設発生土は、市・町・村 地内のセンター事業所に運搬（片道運搬距離 km）とするものとする。なお、処理費として 1 m³ 当たり 円をセンターに支払うこと。 センター事業所へ搬出する土砂の土質は、各事業所が指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状（記載例）砂質土、コーン指数 300kN/m²以上） ③（自由処分） 建設発生土は自由処分とし、片道運搬距離kmを見込んでいる。 【コンクリート魂・アスファルト魂・建設発生木材（処理）】 ④（分別解体等） コンクリート魂・アスファルト魂・建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。その方法は、別表 1 のとおりとする。なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。 コンクリート魂 解体工事費に含む アスファルト魂 解体工事費に含む 建設発生木材 解体工事費に含む ⑤（他工事等流用） は、市・町・村 地内の 工事現場に運搬（片道運搬距離 km）するものとする。 ⑥（再資源化施設へ搬出） コンクリート魂、アスファルト魂、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設への搬出を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。 再資源化施設業者と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにマニフェストを発行するものとする。 なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。 （施設の名称・受入れ費用） コンクリート魂 倉吉市地内の（運搬距離km）、費用 1 t 当り円 アスファルト魂 倉吉市地内の（運搬距離km）、費用 1 t 当り円 建設発生木材 東伯郡琴浦町大字森藤366-14, 366-15地内のトハク解体（運搬距離20km）、費用 1 t 当り6000円 その他（ ） 市・町・村 地内の（運搬距離km）、費用 1 t 当り円 （受入れ時間帯） 8時～17時（平日） （受入れ条件） ア 路盤材、土砂、金属片等が混入していないこと。 イ コンクリート魂、アスファルト魂の径は、それぞれmm以下、mm以下であること。 ウ 建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径 cm以下、長さ m以下であること。 エ 2次公害発生のおそれのある物質（廃油等）を含まないこと。 ⑦（木材市場等への売却） 建設発生木材は、市・町・村 地内の への搬出（片道運搬距離 km）を想定し、 円を見込んでいる。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合の理由を付して協議すること。 ⑧（最終処理等） については、市・町・村 地内の への搬出（片道運搬距離 km）を想定し、その費用として 1 t 当り円を見込んでいる。 については、市・町・村 地内の への搬出（片道運搬距離 km）を想定し、その費用として 1 t 当り円を見込んでいる。 これは、他の施設へ搬出を防げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。 ⑨（産業廃棄物の処理に係る税） 産業廃棄物の処理に係る税に相当 1000円/ t 見込んでいる。

建設副産物の処理	⑩ (建設発生木材の出来形数量)	建設発生木材の運搬量、搬出量は出来形数量に応じて設計変更を行う。そのため、次のとおり数量管理を行うこと。		
	工 種	項 目	規 格	摘 要
	建設発生木材運搬量	現場において運搬車の計測を行うこと。平均的な1断面を計測。計測に当たっては、頂部に最低2箇所の折れ点を設けること。断面積に荷台の延長を乗じて体積を算定する。	運搬車全数の測定を行うこと。また、10台に1台の割合で写真管理を行うこと。ただし、搬出台数が10台に満たない場合は、2台以上写真管理を行うこと。	
建設発生木材搬出量	マニフェスト又は伝票管理を行うこと。	運搬車全数の管理を行うこと。	伝票は処分業者が発行したものでなければならない。	
	⑪ (マニフェスト)	産業廃棄物の運搬又は処分を他人に委託するときは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づきマニフェストを作成すること。ただし、一般廃棄物や有価物は不要。		
建設副産物の使用	① (建設発生土の使用)	工事からの建設発生土を受け入れ、に使用する。		
	② (再生資材の使用)	1) Co雑割材は、工事から運搬し、に使用する。 2) アスファルト・コンクリート切削殻等は、工事から運搬し、に使用する。 3) ・再生クラッシャーラン[規格：] は、に使用する。 ・再生コンクリート砂[規格：RS-] は、に使用する。 4) 再生加熱アスファルト混合物[規格：] は、に使用する。 5) その他再生資材[資材名：] [規格：] は、に使用する。		
境界標	① (境界杭・境界標)	本工事における敷地内の全ての境界標は、必ず管理を行うこと。		
復旧工事	① (工事成績評定)	本工事は、災害等の初期活動で緊急かつ迅速な対応が不可欠である緊急応急工事に該当するため、工事評定の対象としない。		
技能士	① (技能士常駐)	本工事には、下記のとおり鳥取県土木工事共通仕様書に基づく技能士常駐対象工種が含まれており、該当工種の作業期間は、技能士が工事現場に常駐しなければならない。 1) 技能士種別： 技能士、当該工種： 工、仕様書根拠：1－頁 2) 技能士種別： 技能士、当該工種： 工、仕様書根拠：1－頁 3) 技能士種別： 技能士、当該工種： 工、仕様書根拠：1－頁		
コンクリート	① (寒中コンクリート)	本工事は、寒中コンクリートとして施工を行わなければならない期間があるので、適正に実施すること。なお、寒中コンクリートの養生費用については、「寒中コンクリートの養生費用について」(平成23年12月7日付第201100123529号県土整備部長通知)に基づいて処理することとし、設計変更の対象とする。		
その他	①	建設リサイクル法、労働安全衛生法、大気汚染防止法、石綿条例など関係法令に基づく書類を作成し、当該工事着手前に所轄に提出すること。また、関係法令上必要があれば、関係機関と協議を行うこと。		
	②	施設利用者、近隣住民等に対して安全及び騒音振動対策を十分に講じること。		
	③	行事等により工程の調整が必要となる場合があるので、この場合は協力すること。		
	④	工事車両搬入路、作業スペース、資材置き場、作業員駐車場等は施設運営・活動等に支障のない場所とし、仮設計画を作成して生涯学習課担当者、監督員と協議すること。		
	⑤	工事材料等の運搬経路を定め、搬入、搬出すること。また、運搬路及び周辺敷地並びに工作物に対して損傷を与えないように予防措置を講じること。万一、損傷を与えた場合は、速やかに現状復旧すること。		
他	⑥	毎月末には、工程報告書を監督員に提出すること。		

[倉吉市関金農林漁業者等健康増進施設屋根改修工事]

記 号	名 称	規 格 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	適 用
A	建 築 工 事		1	式			
	直接工事費 計						
	共通費						
	共通仮設費		1	式			
	現場管理費		1	式			
	一般管理費等		1	式			
	共通費 計						
	工事価格 計						
	消費税等相当額						
	総 合 計						

	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
A1	直接仮設工事							
	鋼製枠組み足場 (手すり先行方式)		建枠 600x1700 60日 修理費含む 運搬費共 12m未満 2階建て 建築面積 1,000㎡	1,095.0	㎡			
	同 上 安全手摺り		枠組本足場用 60日 修理費含む 運搬費共 建築面積 2,000㎡ 内巾木共	153.0	m			
	昇降階段足場		鋼製枠組み足場	73.4	㎡			
	荷揚げ構台		枠組み足場 3.6*1.8*H12.0 安全手摺り共	4	ヶ所			
	養生ネット張り (外部足場)		防災ホ°ポリエステル	1,207.0	㎡			
	仮設資材荷揚げ費		トラッククレーン 4.9t オペレーター付き	5	日			
	切り妻屋根及び内樋 整理清掃後片付け		屋上露出防水・簡易防水改修程度	1,106.0	㎡			
	陸屋根ほか 整理清掃後片付け		屋上露出防水・簡易防水改修程度	460.0	㎡			
	小 計							

	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
A2	屋根改修工事		* 材工					
	屋根 折板葺き		カラーGL鋼板 t0.6 山高 66、山ピッチ 420 カバー工法（参考：ルーフハズ66）勾配3/10	1,054.0	m ²			
	同上 断熱材裏貼り		耐火ペフ t5 裏貼り	1,054.0	m ²			
	タイトフレーム		@1200程度×14通り×2面 既存母屋にドリルビス止め	983.0	m			
	棟納め		カラーGL鋼板 t0.6 糸巾600	35.1	m			
	棟 エプロン		カラーGL鋼板 t0.6、ハズ部シーリング 共	70.2	m			
	棟 止水め面戸		カラーGL鋼板 t0.6、周囲シーリング 共	70.2	m			
	軒先見切り		カラーGL鋼板 t0.5 糸巾240 既存鼻隠しにドリルビス止め、ケミカル面戸 共	70.2	m			
	軒先面戸		カラーGL鋼板 t0.6 H66	70.2	m			
	ケラバ包み カラーGL鋼板		カラーGL鋼板 t0.6 糸巾600 タイトフレームにドリルビス止め	60.0	m			
			既存カラバ取り合い部分：ケミカル面戸t15共 耐火ペフ t5 裏貼り 共					
	折板 現場搬入費		大型トレーラー	1	式			
	荷揚げ荷下ろし費		25tトラック	1	式			
	雪止めアングル 撤去		L-50*50*4 ドブ漬けメッキ 流れ5段 荷下ろし 共	350.0	m			
	同上 再取付		L-50*50*4 ドブ漬けメッキ 流れ5段 既存再利用 支持金物取替え 共	350.0	m			
	小 計							

	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
A3	シーリング取替え工事		* 材工					
	内樋部分アルミ笠木部 シーリング 撤去		運搬処分共	155.8	m			
	同上 シーリング		笠木ジョイント部 10以下 ポリサルファイト [®] (PS-2)	7.0	m			
	同上 シーリング		内樋取合い部 10～15 ポリサルファイト [®] (PS-2)	148.8	m			
	外壁アルミ水切り W250 シーリング 撤去		運搬処分共	120.4	m			
	同上 シーリング		水切りジョイント部 10以下 ポリサルファイト [®] (PS-2)	5.4	m			
	同上 シーリング		外壁取合い部 10～15 ポリサルファイト [®] (PS-2)	115.0	m			
	笠木壁取合い補修		小変位部 20～25 ポリサルファイト [®] (PS-2)	4	ヶ所			
	サッシ廻り シーリング 撤去		運搬処分共	533.0	m			
	同上 シーリング		10以下 ポリサルファイト [®] (PS-2)	533.0	m			
	壁コーナー水切り シーリング 撤去		運搬処分共	50.4	m			
	同上 シーリング		10以下 ポリサルファイト [®] (PS-2)	50.4	m			
	2階外壁下部水切り シーリング 撤去		運搬処分共	132.0	m			
	同上 シーリング		10以下 ポリサルファイト [®] (PS-2)	132.0	m			
	小 計							

	名 称	品 種	形状寸法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
A4	塗装改修工事		* 材工					
	陸屋根 清掃水洗い		高压洗浄10～15Mpa ルーフトレン共	460.0	m ²			
	内樋 清掃水洗い		高压洗浄10～15Mpa ルーフトレン共	54.5	m ²			
	フート及びバコ 塗装改修 下地調整		RB種 既存鉄部EP塗り面	26.6	m ²			
	同上 錆止め塗料		鉄面 工程B種 現場1回塗りエポキシ樹脂プライマー 屋外	26.6	m ²			
	同上 耐候性塗料塗り（DP）		ポリウレタン樹脂塗り（3級） 2回塗り	26.6	m ²			
	破風板及び鼻隠し塗装改修 下地調整		RB種 既存メッキ鋼面（アルミ部塗装面）	13.3	m ²			
	同上 錆止め塗料		アルミ塗装面 工程B種 現場1回塗りエポキシ樹脂プライマー 屋外	13.3	m ²			
	同上 耐候性塗料塗り（DP）		ポリウレタン樹脂塗り（3級） 2回塗り	13.3	m ²			
	小 計							

	名 称	品 種	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
A5	内壁補修工事		* 材工					
	内壁作業足場		枠組み足場W900 3.6*1.8*H6.0 安全手摺り共	1	ヶ所			
	同上 掛払い手間			2	ヶ所			
	床養生 合板敷込み		コンパネ t12	24.0	m ²			
	壁 ラン合板撤去処分		処分費 木類	1	式			
	壁 ラン合板張り		ラン合板 t5.5 突き付け張り OSL塗り共	6.5	m ²			
	床 整理清掃後片付け		4.0*2.0*3ヶ所	24.0	m ²			
	TVアンテナ支柱撤去処分		側壁形 穴補修及び塗装部分補修共	1	ヶ所			
	小 計							

平成27年度

倉吉市関金農林漁業者等健康増進施設屋根改修工事

図 面 リ ス ト

図面番号	図 面 名 称	縮 尺
	[建 築 図]	
A — 1	表紙・図面リスト	—
A — 2	特 記 仕 様 書 (1)	—
A — 3	特 記 仕 様 書 (3)	—
A — 4	特 記 仕 様 書 (4)	—
A — 5	配 置 図 ・ 附 近 見 取 り 図	1:300
A — 6	1 階 平 面 図 (既 存 図)	1:150
A — 7	2 階 平 面 図 (既 存 図)	1:150
A — 8	屋 根 伏 せ 図 (改 修 図)	1:150
A — 9	屋 根 伏 せ 図 (既 存 図)	1:150
A —10	立 面 図 (1) (改 修 図)	1:150
A —11	立 面 図 (2) (改 修 図)	1:150
A —12	立 面 図 (1) (既 存 図)	1:150
A —13	立 面 図 (2) (既 存 図)	1:150
A —14	部 分 詳 細 図	1: 5
A —15	矩 計 図 (既 存 図)	1: 40
A —16	仮 設 足 場 平 面 図 (参 考 図)	1:200
A —17	仮 設 足 場 立 面 図 (参 考 図)	1:200

⑨	防水工事	1	アスファルト防水 (9.2.2~5)	アスファルトの種類 3種 防水層の下地のモルタル塗り ・ 適用する (施工範囲 ・ 図示 ・)	1	石材 (10.2.1)	種類 ※ 天然石 ・ 人工石 品質 ※ 1等品 (床以外) ※ 2等品 (床) 形状、寸法及び厚さ ※ 図示による 石材の種類及び表面仕上げ 表10.2.1~2	1	床張り用合板及びその他の合板 G (12.2.3) (19.7.2)	ホルムアルデヒド放数量 ※ 規制対象外 ・ 第三種 表15.5.1 ・ 普通合板	1	あと施工アンカー (14.1.3)	引抜き耐力の確認試験 ※ 機械的簡易引抜試験機による引張試験 ・ 行わない 設計用引張強度 []									
		2	改質アスファルトシート防水 (9.3.2~3)	屋根保護防水 表9.2.3~6 種類 施工箇所 断熱材 G 絶縁用シート 立上り部の保護 ・ A-1 ※ 45mm厚以上 ・ A-2 ※ 乾式保護材 ・ B-1 ※ 2層以上 ・ B-2 ※ 2層以上 ・ A1-1 ※ 押出法製 50mm厚 3層以上 ・ A1-2 ※ 70g/㎡程度 ・ B1-1 厚さ ※ 25mm ・ 50 ・ B1-2 断熱材は、原則としてグリーン購入法における特定調達品目を使用すること 屋根保護防水断熱工法の断熱材 (オゾン層破壊物質を含まないもの。また、長期的に断熱性能を保持しつつ、可能な限り地球温暖化係数の小さい物質が使用されていること) G 材質 ※ 押出法ポリスチレンフォーム3種bスキン層付 (JIS A9511) 厚さ ※ 25mm 防水立上り部の保護 ※ 乾式保護材 無石繊維複合原料等を主原料とし板状に押出成形し、オートクレープ養生したもの (窯業系パネル) とし、寸法は図示による 品質・性能等 寸法の許容差 厚さ: -5~+10%、幅: ±1% 寸法の許容差 厚さ: -5~+10%、幅: ±1% 曲げ強さ、曲げモーメント (N・cm) (スパン50cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモーメント) 標準時450以上、凍結融解完了時 (試験サイクル数) 320以上 (200) 耐凍結融解性能 (試験サイクル数: 上記) 試験後、著しい割れや剥離がなく外観上異常がないこと 吸水性 (20%以下) 吸水による長さ変化率 (0.07%以下) 耐火性能 不燃 耐衝撃性 高さ1.0mから試験体の弱点部に500gのおもりを落とすとき、表面に達する穴があかないこと 出荷時の含水率 10%以下 ・ れんが	2	取付け金物 (10.2.2)	乾式工法用金物の種類 ・ スライド方式 ・ ロッキング方式 表10.2.4	2	床張り用合板及びその他の合板 G (12.2.3) (19.7.2)	ホルムアルデヒド放数量 ※ 規制対象外 ・ 第三種 表15.5.1 ・ 普通合板	2	ステンレスの 表面仕上げ (14.2.1)	※ H L 仕上げ ・ 鏡面仕上げ 施工箇所 []									
		3	合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2~3)	屋根露出防水 表9.2.7 種類 施工箇所 種類 施工箇所 ・ D-1 ・ D-2	3	その他の材料 (10.2.3)	・ 石裏面処理材 () ・ 裏打ち処理材 () ・ ドレンパイプの材質 () ・ 金物固定充填材料 ()	3	接着剤 (12.2.6)	・ 構造用合板 施工箇所 厚さ (mm) 接着の程度 表板の樹種名 表板の品質 防虫処理 その他の処理 間伐材等の適用 (壁、天井) 5.5 1類 しない ・ 難燃処理 ・ 防虫処理 (床) 5.5 ※ 1種 ・ 2種 針葉樹 ・ 1等 ※ 2等 針葉樹 ※ C-D ・ しない ・ 構造用合板 施工箇所 厚さ (mm) 接着の程度 等級 有効断面係数 表板の樹種名 表板の品質 防虫処理 間伐材等の適用 (壁、天井) ※ 4.2 ・ 1級 ・ 2級 ・ しおじ ・ 特殊加工化粧合板 施工箇所 厚さ (mm) 接着の程度 表面性能 加工面 単板の樹種名 防虫処理 その他の処理 間伐材等の適用 (壁、天井) ※ 4.0 ・ 1級 ・ 2級 ・ F ・ 表面 ・ する ・ 難燃処理 ・ ・ W ・ SW ・ しない ・ 特殊加工化粧合板 施工箇所 厚さ (mm) 接着の程度 表面性能 加工面 単板の樹種名 防虫処理 その他の処理 間伐材等の適用 (壁、天井) ※ 4.0 ・ 1級 ・ 2級 ・ F ・ 表面 ・ する ・ 難燃処理 ・ ・ W ・ SW ・ しない	3	アルミニウム及びアルミニウム合金の 表面処理 (14.2.2)	種類 施工箇所 種類 施工箇所 B-1種 B-2種 C-1種 他の項目に特記されたものを除く 表14.2.1									
		4	塗膜防水 (9.5.3)	屋根露出防水 表9.2.8 種類 施工箇所 種類 施工箇所 ・ E-1 ・ E-2 保護層 ・ 設ける (図示)	4	伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 (11.1.3)	外壁 ※ 図示による ・ 表11.1.1による ・ 耐震スリット部	4	折敷板 (13.3.2)	長尺金属板の種類 表13.2.1 ※ 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 (屋根用) (CGLCR-20-AZ150) ・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (屋根用) (CGCCR-20-Z25) ・ ポリ塩化ビニル被覆金属板 (A種、S種) ・ 塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯 (屋根用) (CZACCR-20) 長尺金属板の厚さ (mm) 一般部 0.3 ・ 0.35 ※ 0.4 谷部 0.3 ※ 0.4 屋根葺き形式 横葺 ・ 芯なし瓦葺 ・ 立平葺 ・ あり掛 屋根葺き工法を定める専門事業者 ※ 監督員の承認する業者 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法を施工計画として提出する 表13.2.1 形式 ※ 重ね形又ははね組み形 ・ かん合形 山高 66 mm 山ピッチ 420 mm 耐力 ※ 厚さ ※ 0.8mm 0.6mm ・ 0.5mm 材料 ※ 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 (屋根用) (CGLCR-20-AZ150) ・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (屋根用) (CGCCR-20-Z25) ・ ポリ塩化ビニル被覆金属板 (S種、A種) ・ 塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯 (屋根用) (CZACCR-20) 軒先面戸板 ベア張り 適用する (t = 5mm) [・ 不燃材 30分耐火] ・ 適用しない 変形防止材 鉄鋼製 ・ ステンレス製 鉄鋼製の表面処理の上塗り 行う () ・ 行わない 表面処理の上塗り 行う ・ 行わない 耐火性能 30分 ・ なし 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法を施工計画として提出する 表13.5.1 材料 ※ JIS A 5208 及び図示による 産地 [] 産 下葺材料 ※ アスファルトルーフィング940 (JIS A 6005) ・ 構木 樹種: ※ 杉 ※ 松 寸法: ※ 21(w) × 15(h) 以上 補強用芯材 樹種: ※ 杉 ※ 松 寸法: ※ 40(w) × 30(h) 以上 構の工法 ※ 図示による 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法を施工計画として提出する 表13.5.4 防露部 ステンレス (SUS304、厚さ0.2mm) で被覆する 高さ (mm) 床 ※ 150 天井 ※ 30 防露を行わない場合 ステンレス製シーリングプレートを取付ける (床、天井共)	5	鋼管製といの防露巻 工法部等の処理 (13.5.3)	防露部 ステンレス (SUS304、厚さ0.2mm) で被覆する 高さ (mm) 床 ※ 150 天井 ※ 30 防露を行わない場合 ステンレス製シーリングプレートを取付ける (床、天井共)	5	軽量鉄骨天井下地 (14.4.2~4)	野縁等の種類 屋外 ※ 25型 ・ 屋内 ※ 19型 ・ 25型 屋外の軒天井、ビロチ天井等 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する 天井下地における耐震性を考慮した補強 ※ 14.4.4 (h) による ・ 天井のふところ高が3mを超える場合 補強箇所 ※ 図示 補強方法 ※ 図示	5	軽量鉄骨壁下地 (14.5.2~4)	スタッド、ランナー等の種類 ・ 50形 ・ 65形 ・ 75形 ・ 90形 ・ 100形 表14.5.1	5	アルミニウム製壁木 (14.7.2~3)	※ 押出し形材 部材の種類 ・ 250形 (呼称肉厚は1.6以上) ・ 300形 (呼称肉厚は1.9以上) ・ 350形 (呼称肉厚は2.0以上) 表面処理 ※ A-1種又はB-1種 隅角部及び突出部等の役物 笠木製造所の仕様による ・ 曲げ材 材質 JIS H4000による 表面処理 ※ A-1種又はB-1種 厚さ (mm) ・ 2.0 形状は図示による 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法を施工計画書として提出する 表14.7.1
		5	脱気装置	防水層の種類 表9.5.1~2 種類 施工箇所 備考 ・ X-1 仕上げ塗料塗り ・ カラー ・ X-2 ※ シルバー ・ Y-1 ※ 地下外壁防水 ・ Y-2 ※ 屋内防水 Y-2の保護層 ・ 設ける	5	内部陶磁器質タイル 後張り (11.3.3)	施工箇所 ※ 便所等 ・ 図示による 適用タイル ・ 内装陶磁器質タイル ・ 50角モザイクタイル 下地モルタル塗り ※ モルタル ・ ポリマーセメントモルタル ・ 行わない ポリマーセメントモルタルの割合は、15.2.3 (d) による 工法 ※ 密着張り ・ 改良圧着張り ・ 改良積上張り ・ モザイクタイル張り 表11.3.2	5	1	長尺金属板 (13.2.3)	長尺金属板の種類 表13.2.1 ※ 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 (屋根用) (CGLCR-20-AZ150) ・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (屋根用) (CGCCR-20-Z25) ・ ポリ塩化ビニル被覆金属板 (S種、A種) ・ 塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯 (屋根用) (CZACCR-20) 長尺金属板の厚さ (mm) 一般部 0.3 ・ 0.35 ※ 0.4 谷部 0.3 ※ 0.4 屋根葺き形式 横葺 ・ 芯なし瓦葺 ・ 立平葺 ・ あり掛 屋根葺き工法を定める専門事業者 ※ 監督員の承認する業者 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法を施工計画として提出する 表13.2.1 形式 ※ 重ね形又ははね組み形 ・ かん合形 山高 66 mm 山ピッチ 420 mm 耐力 ※ 厚さ ※ 0.8mm 0.6mm ・ 0.5mm 材料 ※ 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 (屋根用) (CGLCR-20-AZ150) ・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (屋根用) (CGCCR-20-Z25) ・ ポリ塩化ビニル被覆金属板 (S種、A種) ・ 塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯 (屋根用) (CZACCR-20) 軒先面戸板 ベア張り 適用する (t = 5mm) [・ 不燃材 30分耐火] ・ 適用しない 変形防止材 鉄鋼製 ・ ステンレス製 鉄鋼製の表面処理の上塗り 行う () ・ 行わない 表面処理の上塗り 行う ・ 行わない 耐火性能 30分 ・ なし											

15

左

工

事

7

仕上り仕上材仕上

(15.5.2)

・ 複層仕上材

種類

仕上の形状

工法

上塗材 (耐候性 耐候形3種)

※ 複層塗材 E

※ 凹凸模様

吹付け

※ 水系

※ アクリル系

※ つやあり

・ 可とう形複層塗材 E

・ 凹凸模様

ローラー

・ 水系

・ 溶剤系

・ アクリルシリコン系

・ フッ素系

・ シリカ系

・ 複層塗材 S i

・ 複層塗材 C E

・ 複層塗材 R E

・ 複層塗材 R S

・ 防水形複層塗材 C E

・ 防水形複層塗材 R S

・ 防水形複層塗材 R E

・ 軽量素材仕上塗材

種類

仕上の形状

工法

・ 吹付け用軽量塗材

砂壁状

吹付け

・ 遮断材

遮断材

遮断材

防火材料の指定

※ 屋内の壁、天井の仕上材は防火材料とする

建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量

※ 規制対象外

・ 第三種

8

ロックウール吹付け

(15.7.1~4)

厚さ (mm)

・ 10

・ 15

・ 20

・ 30

・

ロックウール及び接着剤のホルムアルデヒド放散量

※ 規制対象外

・ 第三種

16

建

具

工

事

1

アルミニウム製建具

(16.2.2~4)

外部に面する建具の性能等級等

種類

※ A種

・ B種

・ C種

耐風圧性

※ S-4

・ S-5

・ S-6

気密性

※ A-3

・ A-4

水密性

※ W-4

・ W-5

・ W-6

表面凹凸 (mm)

・ 70

・ 100

・ 100

表面処理

※ B-1種

・ B-2種

(・ アンバー ・ ブロンズ ・ ステンカラー ・ ブラック)

防音ドアセット ・ 防音サッシの遮音性の等級

・ T-1

・ T-2

・ T-3

断熱ドアセット・断熱サッシの断熱性の等級

※ H-1

・ H-2

・ H-3

耐震ドアセットの面内変形追従性の等級

・

網戸等

種類

材質

網径

網目

・ 防虫網

・ 合成樹脂製

※ ガラス繊維入り合成樹脂製

・ ステンレス製 (SUS316)

0.25mm以上

16~18メッシュ

・ 防鳥網

ステンレス製 (SUS304) 線材

1.5mm

網目寸法

ピッチ15mm

外部に面する建具以外の表面処理

C-1種又はB-1種

2

鋼製建具

(16.3.2)

外部に面する建具の耐風圧性の等級

・ S-4

・ S-5

・ S-6

防音ドアセット・防音サッシの遮音性の等級

・ T-1

・ T-2

・ T-3

断熱ドアセット・断熱サッシの断熱性の等級

※ H-1

・ H-2

・ H-3

耐震ドアセットの面内変形追従性の等級

・

防火戸

煙感知器連動とする

防火戸の解放機構は別途とする

扉にラッチ受座用切込み開口補強を行う

3

鋼製軽量建具

(16.4.3)

外部に面する建具の耐風圧性の等級

・ S-4

・ S-5

・ S-6

防音ドアセット・防音サッシの遮音性の等級

・ T-1

・ T-2

・ T-3

断熱ドアセット・断熱サッシの断熱性の等級

※ H-1

・ H-2

・ H-3

耐震ドアセットの面内変形追従性の等級

・

防火戸

煙感知器連動とする

防火戸の解放機構は別途とする

扉にラッチ受座用切込み開口補強を行う

戸の鋼板

※ 表面処理亜鉛めっき鋼板

・ ビニル被覆鋼板

・ カラー鋼板

4

ステンレス製建具

(16.5.3)

召合わせ、縦小口包み板

※ 鋼板

・ ステンレス

・ アルミニウム

扉の表面材、押板

※ 鋼板

・ ビニル被覆鋼板

種類

※ 鋼板 (くつずりはステンレス)

・ 製作所仕様

5

木製建具

(16.6.2)

外部に面する建具の耐風圧性

・ S-4

・ S-5

・ S-6

防音ドアセット・防音サッシの遮音性の等級

・ T-1

・ T-2

・ T-3

断熱ドアセット・断熱サッシの断熱性の等級

※ H-1

・ H-2

・ H-3

耐震ドアセットの面内変形追従性の等級

・

ステンレス鋼板 (屋外)

・ SUS430J1L

・ SUS304

ステンレス鋼板 (屋内)

※ SUS430

・ SUS430J1L

・ SUS304

表面仕上げ

※ H1仕上げ

・

曲げ加工

※ 普通曲げ

・ 角出し曲げ (・ 角

・ 角

・ 角)

6

鍵

(16.7.4)

建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量

※ 規制対象外

・ 第三種

ふすまの材料

種類

※ 表16.6.3のⅡ型

上張り紙

※ ビニル紙

・ 新鳥の子

押入等の裏側

※ 雲花紙

縁仕上

・ 塗り縁

・ 生地縁 (素地)

・ 生地縁 (ウレタンクリアー塗装)

枠及びくつずり材料

※ 図示による

7

鍵

(16.7.4)

マスターキー

・ 製作する (組)

・ 製作しない

鍵箱

・ 設ける (組用 組)

・ 設けない

8

自動ドア開閉装置

(16.8.2~3)

センサーの種類

※ 光線 (反射)

・ マット

・ 熱線

・ 音波

・ 光電

・ 電波

・ タッチ

・ 押しボタン

・ ペダル

・ 多機能使用

取付け位置

・ 床面

※ 天井面

・ 壁面

・ 無目

凍結防止措置

※ 行わない

・ 行う (適用箇所は建具表による)

9

重量シャッター

(16.10.2)

種類

・ 一般

・ 外壁用防火

・ 屋内用防火

・ 屋内用防煙

防火又は、防煙シャッターは、自動開閉装置及び随時開閉装置付とし、連動制御装置及び、煙感知器は別途とする

耐風圧強度

一般 () N/m²

外壁用 () N/m²

開閉機能による種類

※ 上部電動式 (手動併用)

・ 上部手動式

シャッターケース (防火、防煙以外)

※ 設ける

・ 設けない

10

経量シャッター

(16.11.2~4)

開閉形式

※ 手動式

・ 上部電動式 (手動併用)

耐風圧強度 () N/m²

スラットの材質

※ JIS G3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼等) 又は JIS G3318 (塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼等)

スラットの形状

※ インターロッキング形

・ オーバーラッピング形

シャッターケース

※ 設ける

・ 設けない

ガイドレールの材質

※ ステンレス製 (SUS304) 厚さ1.5mm () N/m²

・ 中柱共 ()

座板 (屋外の場合)

※ ステンレス製製品

・

11

オーバーヘッドドア

(16.12.2~3)

セクション材料による区分

※ スチールタイプ

・ アルミニウムタイプ

・ ファイバーグラスタイプ

耐風圧性能

・ 500Pa

・ 750Pa

・ 1000Pa

・ 1250Pa

・ 1700Pa

開閉形式による区分

※ バランス式

・ チェーン式

・ 電動式

収納形式による区分

※ スタンダー形

・ ローヘッド形

・ ハイリフト形

・ パーチカル形

ガイドレールの材質

※ 溶融亜鉛めっき鋼板

・ ステンレス製 (SUS304) 厚さ2.0mm

12

ガラス

(16.13.2)

・ 合わせガラス

品 種

構成種類

性 能

※ フロート合わせガラス

※ フロート板合わせガラス

・ Ⅰ類

・ 網入合わせガラス

・ 網入り、フロート板合わせガラス

・ Ⅱ-Ⅰ類

・ Ⅱ-2類

・ Ⅲ類

・ 強化ガラス

材料板ガラスによる種類

種 類

性 能

※ フロートガラス

※ フロート強化ガラス

・ 熱線吸収、フロート板合わせガラス

・ Ⅰ類

・ Ⅱ類

・ 型板ガラス

※ 型板強化ガラス

・ 複層ガラス

品 種

断熱性

日射遮へい性

・ 断熱複層ガラス

・ 1種

U1

・ 2種

U2

・ 3種

U3-1

・ U3-2

・ 日射熱遮へい複層ガラス

・ 4種

E4

・ 5種

E5

・ 熱線反射板ガラス

品 種

色 調

※ 熱線反射ガラス

・ ブルー

・ グレー

・ 高性能反射板ガラス

・ ブロンズ

・ シルバー

品 種

日射遮へい性

耐久性

ガラスの種類

※ 熱線反射ガラス

・ 1種

A種

・ 高性能反射板ガラス

・ 2種

A種

・ B種

・ 3種

B種

反射皮膜面

※ 内面

・ 外面

映像調整

※ 行わない

・ 行う

・ 倍強度ガラス

材料板ガラスによる種類の名称

色 調

※ 倍強度ガラス

・ グレー

・ ブルー

・ ブロンズ

・

・ 倍強度熱線吸収ガラス

・ グレー

・ ブルー

・ ブロンズ

・

13

ガラスの留め材

(16.13.2)

建具の種類

材 種

鋼製

※ シーリング材

アルミニウム製

※ シーリング材

・ ガスケット (グレイジングチャンネル形)

ステンレス製

※ シーリング材

木製

※ シーリング材

防火戸のガラス留め材は、建築基準法に基づき防火性能の認定を受けた条件による

14

ガラス溝の寸法、形状等

(16.13.3)

※ 表16.13.1による

・ 図示による

15

ガラスブロック組み

(16.13.5)

表面形状

呼び寸法

厚さ

色調

目地幅 (mm)

伸縮調整目地 (mm)

防火性能

正方形

・ 125×125

80

クリア

乳白

平積み

曲面積み

※ 8~15

外側

※ 15~25

15以下

10~20

※ 図示による

・ なし

・ あり

長方形

・ 200×200

95

・ 125

・ 320×320

95

・ 250×125

80

・ 320×160

95

内側

※ 6以下

曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする

壁用金属枠及び補強材

・ 設ける (形状 ※ 図示による

・)

石膏 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 厚5.5mm(図し形状補強及び単筋

・

目地部の石膏の補強方法

※ ガラスブロック製造所の仕様による

・

化粧目地モルタルの色 ()

・

シーリング材

※ 表9.6.1による

・

金属製化粧カバー

材質

・ ステンレス鋼

・ アルミニウム製

寸法

・ 図示による

・

形状

・ 図示による

・

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画として提出する

16

ガラス用フィルム

(16.13.5)

名 称

種類

張り面

性能値

※ ガラス飛散防止フィルム

第2種

※ 内張り

・ 外張り

飛散防止率

D1

・

品質

JIS A 5769による。

17

付属電気設備

(16.13.5)

電動シャッター、自動扉、電動オーバーヘッドドアの電動機が三相電動機0.4kw以上の場合は機器付属の操作室内に電動機保護用遮断機及び過電流コンデンサーを設置する

18

カーテンウォール

(17.1.3)

取付方法

・ 層間方式

・ 柱、梁方式

・ 方立方式

・ スパンドレル方式

性能

耐震性能 (地震力係数)

水平方向 (kH)

※ 1.0

・

垂直方向 (kV)

※ 0.5

・

気密性

・ A-1

・ A-2

・ A-3

・ A-4

・

耐火性

・ 30分

・ 1時間

耐温度差性

・ 80℃

・ 70℃

・ 60℃

遮音性

・ T-1

・ T-2

・ T-3

・ T-4

断熱性

・ H-1

・ H-2

・ H-3

・ H-4

・ H-5

19

内装工事

(17.1.3)

1

接着剤

(19.2.2)

壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒド放散量

※ 規制対象外

・ 第三種

接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする

2

ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル

(19.2.2~3)

ビニル樹脂系材料の原材料

再生ビニル系材料の原材料の合計重量が製品の総重量比で15%以上使用されていること (JIS A5705 (ビニル系材料) に規定されるビニル系材料の種類で記号PFに該当するものを除く)

20

床材

(19.2.2~3)

1

床材

(19.2.2~3)

2

床材

(19.2.2~3)

21

天井

(19.2.2~3)

1

天井

(19.2.2~3)

2

天井

(19.2.2~3)

22

照明

(19.2.2~3)

1

照明

(19.2.2~3)

2

照明

(19.2.2~3)

23

空調

(19.2.2~3)

1

空調

(19.2.2~3)

2

空調

(19.2.2~3)

24

音響

(19.2.2~3)

1

音響

(19.2.2~3)

2

音響

(19.2.2~3)

25

防音

(19.2.2~3)

1

防音

(19.2.2~3)

2

防音

(19.2.2~3)

26

断熱

(19.2.2~3)

1

断熱

(19.2.2~3)

2

断熱

(19.2.2~3)

27

防火

(19.2.2~3)

1

防火

(19.2.2~3)

2

防火

(19.2.2~3)

28

防煙

(19.2.2~3)

1

防煙

(19.2.2~3)

2

防煙

(19.2.2~3)

29

防振

(19.2.2~3)

1

防振

(19.2.2~3)

2

防振

(19.2.2~3)

30

防湿

(19.2.2~3)

1

防湿

(19.2.2~3)

2

防湿

(19.2.2~3)

31

防臭

(19.2.2~3)

1

防臭

(19.2.2~3)

2

防臭

(19.2.2~3)

32

防虫

(19.2.2~3)

1

防虫

(19.2.2~3)

2

防虫

(19.2.2~3)

33

防鳥

(19.2.2~3)

1

防鳥

(19.2.2~3)

2

防鳥

(19.2.2~3)

34

防鼠

(19.2.2~3)

1

防鼠

(19.2.2~3)

2

防鼠

(19.2.2~3)

35

防蛇

(19.2.2~3)

1

防蛇

(19.2.2~3)

2

防蛇

(19.2.2~3)

36

防蟻

(19.2.2~3)

1

防蟻

(19.2.2~3)

2

防蟻

(19.2.2~3)

37

防蜂

(19.2.2~3)

1

防蜂

(19.2.2~3)

2

防蜂

(19.2.2~3)

38

防蚊

(19.2.2~3)

1

防蚊

(19.2.2~3)

2

防蚊

(19.2.2~3)

39

防蛾

(19.2.2~3)

1

防蛾

(19.2.2~3)

2

防蛾

(19.2.2~3)

40

防蜘蛛

(19.2.2~3)

1

防蜘蛛

(19.2.2~3)

2

防蜘蛛

(19.2.2~3)

41

防カビ

(19.2.2~3)

1

防カビ

(19.2.2~3)

2

防カビ

(19.2.2~3)

42

防霉

(19.2.2~3)

1

防霉

(19.2.2~3)

2

防霉

(19.2.2~3)

43

防藻

(19.2.2~3)

1

防藻

(19.2.2~3)

2

防藻

(19.2.2~3)

44

防菌

(19.2.2~3)

1

防菌

(19.2.2~3)

2

防菌

(19.2.2~3)

45

防ウイルス

(19.2.2~3)

1

防ウイルス

(19.2.2~3)

2

防ウイルス

(19.2.2~3)

46

防花粉

(19.2.2~3)

1

防花粉

(19.2.2~3)

2

防花粉

(19.2.2~3)

47

防花粉

(19.2.2~3)

1

防花粉

(19.2.2~3)

2

防花粉

(19.2.2~3)

48

防花粉

(19.2.2~3)

1

防花粉

(19.2.2~3)

2

防花粉

(19.2.2~3)

49

防花粉

(19.2.2~3)

1

防花粉

(19.2.2~3)

2

防花粉

(19.2.2~3)

50

防花粉

(19.2.2~3)

1

防花粉

(19.2.2~3)

2

防花粉

(19.2.2~3)

51

防花粉

(19.2.2~3)

1

防花粉

(19.2.2~3)

2

防花粉

(19.2.2~3)

52

防花粉

(19.2.2~3)

1

防花粉

(19.2.2~3)

2

防花粉

(19.2.2~3)

53

防花粉

(19.2.2~3)

1

防花粉

(19.2.2~3)

2

防花粉

(19.2.2~3)

54

防花粉

(19.2.2~3)

1

防花粉

(19.2.2~3)

2

防花粉

(19.2.2~3)

55

防花粉

(19.2.2~3)

1

防花粉

(19.2.2~3)

2

防花粉

(19.2.2~3)

56

防花粉

(19.2.2~3)

1

防花粉

(19.2.2~3)

2

防花粉

(19.2.2~3)

57

防花粉

(19.2.2~3)

1

防花粉

(19.2.2~3)

2

防花粉

(19.2.2~3)

58

防花粉

(19.2.2~3)

1

防花粉

(19.2.2~3)

2

防花粉

(19.2.2~3)

59

防花粉

(19.2.2~3)

1

防花粉

(19.2.2~3)

2

防花粉

(19.2.2~3)

60

防花粉

(19.2.2~3)

1

防花粉

(19.2.2~3)

2

防花粉

(19.2.2~3)

61

防花粉

(19.2.2~3)

1

防花粉

(19.2.2~3)

2

防花粉

(19.2.2~3)

62

防花粉

(19.2.2~3)

1

防花粉

(19.2.2~3)

2

防花粉

(19.2.2~3)

63

防花粉

(19.2.2~3)

1

防花粉

(19.2.2~3)

2

防花粉

(19.2.2~3)

64

防花粉

(19.2.2~3)

1

防花粉

(19.2.2~3)

2

防花粉

(19.2.2~3)

65

防花粉

(19.2.2~3)

1

防花粉

(19.2.2~3)

2

防花粉

(19.2.2~3)

66

防花粉

(19.2.2~3)

1

防花粉

(19.2.2~3)

2

防花粉

(19.2.2~3)

67

防花粉

(19.2.2~3)

1

防花粉

(19.2.2~3)

2

防花粉

(19.2.2~3)

68

防花粉

(19.2.2~3)

1

防花粉

(19.2.2~3)

2

防花粉

(19.2.2~3)

69

防花粉

(19.2.2~3)

1

防花粉

(19.2.2~3)

2

防花粉

(19.2.2~3)

70

防花粉

(19.2.2~3)

1

防花粉

(19.2.2~3)

2

防花粉

(19.2.2~3)

71

防花粉

(19.2.2~3)

1

防花粉

(19.2.2~3)

2

防花粉

(19.2.2~3)

72

防花粉

(19.2.2~3)

1

防花粉

(19.2.2~3)

2

防花粉

(19.2.2~3)

73

防花粉

(19.2.2~3)

1

防花粉

(19.2.2~3)

2

防花粉

(19.2.2~3)

74

防花粉

(19.2.2~3)

1

防花粉

(19.2.2~3)

2

防花粉

(19.2.2~3)

75

防花粉

(19.2.2~3)

1

防花粉

(19.2.2~3)

2

防花粉

(19.2.2~3)

76

防花粉

(19.2.2~3)

1

防花粉

(19.2.2~3)

2

防花粉

(19.2.2~3)

77

防花粉

(19.2.2~3)

1

防花粉

(19.2.2~3)

2

防花粉

(19.2.2~3)

78

防花粉

(19.2.2~3)

1

防花粉

(19.2.2~3)

2

防花粉

(19.2.2~3)

79

防花粉

(19.2.2~3)

1

防花粉

(19.2.2~3)

2

防花粉

(19.2.2~3)

80

防花粉

(19.2.2~3)

1

防花粉

(19.2.2~3)

2

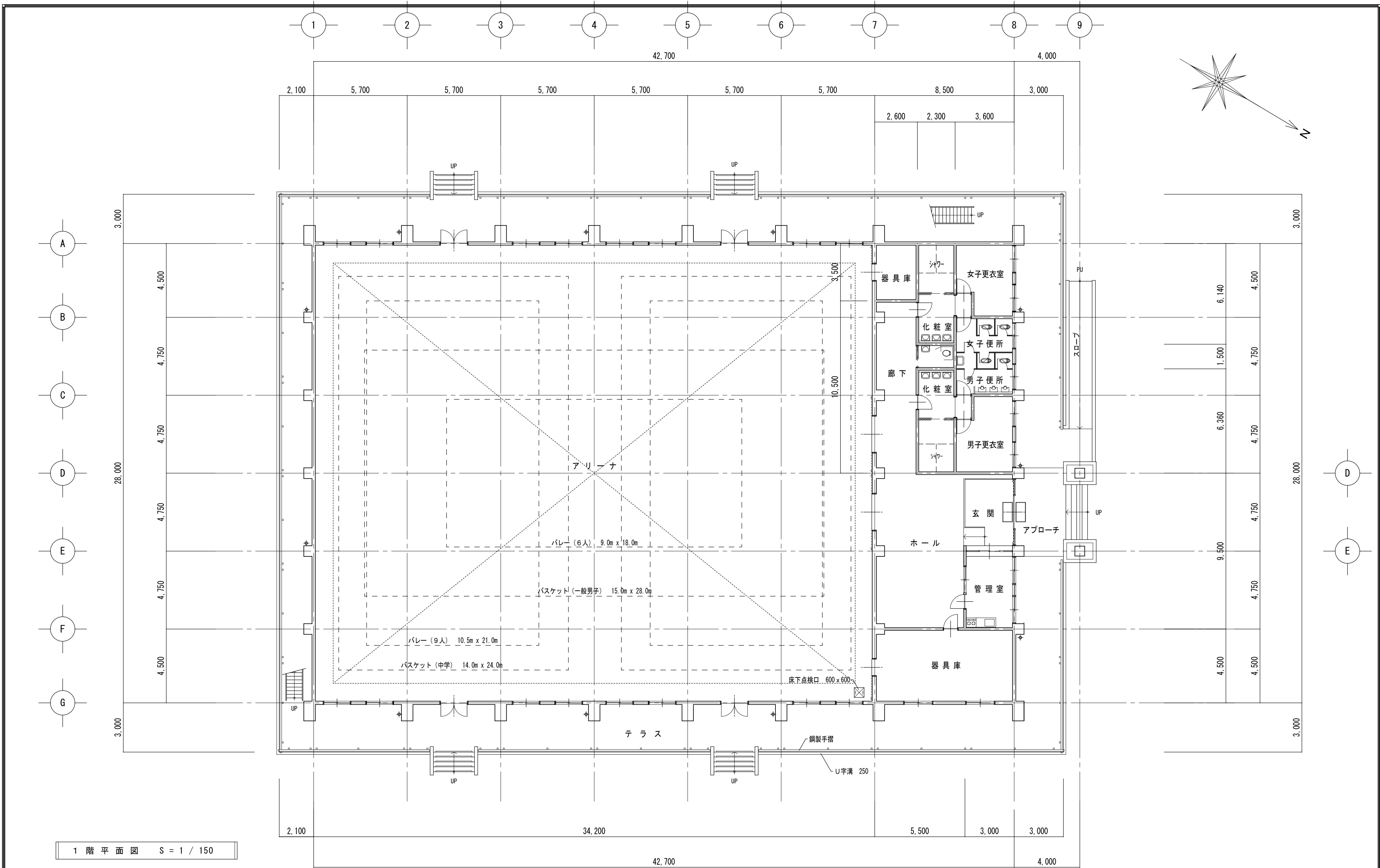
防花粉

(19.2.2~3)

81

防花粉

(19.2.2~3)</



1 階 平 面 図 S = 1 / 150

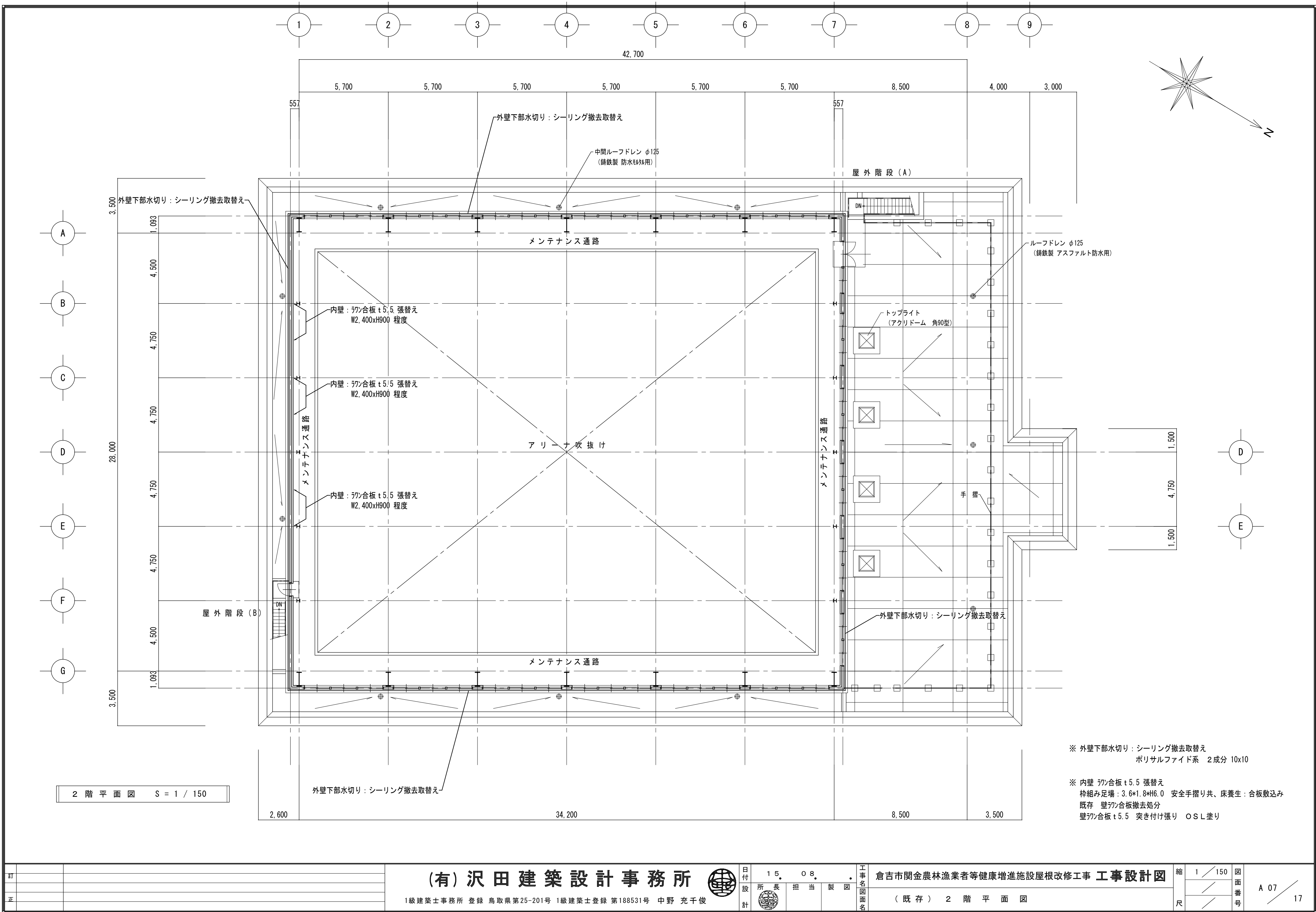
訂	
正	

(有) 沢田 建築設計事務所

1級建築士事務所 登録 鳥取県第25-201号 1級建築士登録 第188531号 中野 充千俊

日付	15.08.	工事名	倉吉市関金農林漁業者等健康増進施設屋根改修工事
設計	所長 担当 製図	図面名	(既存) 1 階 平 面 図

縮尺	1 / 150	図面番号	A 06 / 17
----	---------	------	-----------



※ 外壁下部水切り：シーリング撤去取替え
ポリサルファイド系 2成分 10x10

※ 内壁 珪藻合板 t5.5 張替え
枠組み足場：3.6x1.8xH6.0 安全手摺り共、床養生：合板敷込み
既存 壁珪藻合板撤去処分
壁珪藻合板 t5.5 突き付け張り OSL塗り

訂		
正		

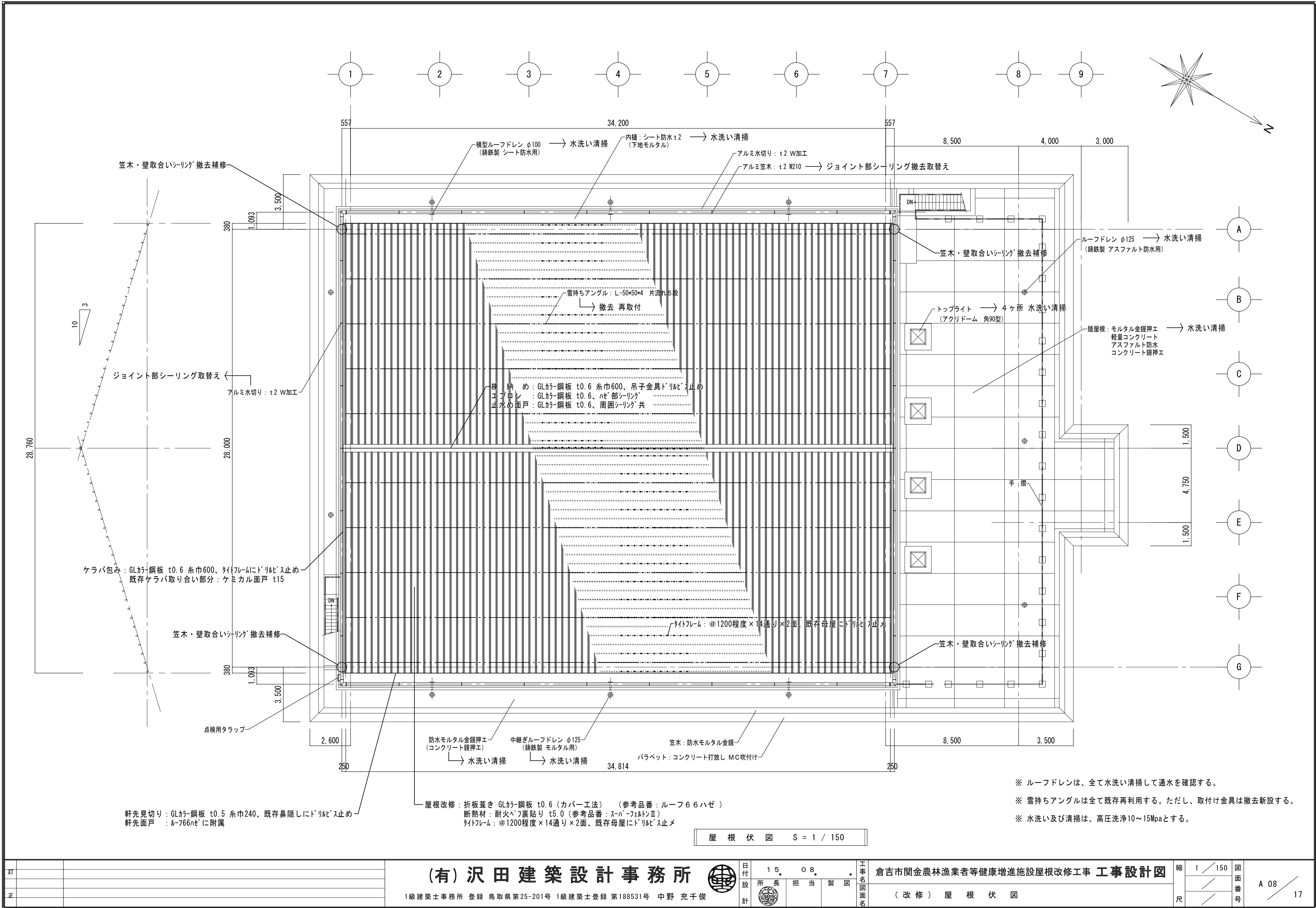
(有) 沢田 建築設計事務所
1級建築士事務所 登録 鳥取県第25-201号 1級建築士登録 第188531号 中野 充千俊



日付	15.08.	工事名	倉吉市関金農林漁業者等健康増進施設屋根改修工事
設計	所長	担当	製図
計			図面名

(既 存) 2 階 平 面 図	
-------------------	--

縮尺	1 / 150	図面番号	A 07 / 17
----	---------	------	-----------



※ ルーフドレンは、全て水洗い清掃して通水を確認する。

※ 雪持ちアングルは全て既存再利用する。ただし、取付け金具は撤去新設する。

※ 水洗い及び清掃は、高圧洗浄10～15Mpaとする。

屋 根 伏 図 S = 1 / 150

訂 正			(有) 沢田 建築設計事務所 1級建築士事務所 登録 鳥取県第25-201号 1級建築士登録 第188531号 中野 充千俊	日付 設 計	15. 08.	所 長 担 当 製 図	工 事 名 図 面 名	倉吉市関金農林漁業者等健康増進施設屋根改修工事 工事設計図	縮 尺	1 / 150	図 面 番 号	A 08 / 17